

# 2011 年度第 2 回 FD 講演会

- 日 時： 2011 年 10 月 5 日(水)16:30～19:00  
会 場： グリーンホール  
内 容： **第 1 部 新「授業アンケート」に関する考察レポート**  
齋藤孝滋教授(コミュニケーション学科／フィールド言語学)  
**第 2 部 学生を交えた座談会**  
基調講演：高嶋成豪講師  
座談会：「フェリスの教育力を考える」  
司会：春木良且教授(国際交流学科、基礎教養・総合課題科目運営委員長)

2010 年度に学長提案科目として開講した「創立 140 周年記念科目(フェリス女学院で学ぶということ)」を受けて、2011 年度から常設科目として「フェリス女学院で学ぶということ(1)(2)」を開講しています。そこでは、教育研究機関としてのフェリス女学院を、そのモットーである「For Others」の観点から俯瞰し、過去、現在の成果を通して、未来の姿にまで考えて行くことを内容にしています。



2011 年度後期に開講した「フェリス女学院で学ぶということ(2)」では、「学生が、みずから描く学びの取り組み」をテーマに、共有価値観であり学習規範たる「フェリス学生憲章」をつくりあげるプロジェクト形式の授業としました。社会が、大学生に何を学んでほしいか、将来社会人としてどのような役割を期待しているかを理解し、「学生憲章」に結実させることを目標としました。

授業の第 2 週目では、FD 講演会として主担当である高嶋成豪講師による基調講演と、春木良且教授の司会で受講学生の代表 5 名と各学部から 3 名の教員による 公開形式の座談会を実施しました。大学への期待、後輩に伝えたいこと、価値観が変化したきっかけ、学習意欲を決定づける要因、共に学ぶ仲間的重要性等について率直に語られ、出席者に強い印象を残しました。当日の様子は、広報誌「キャンパス・ニュース」に詳細にレポートしてあります。また、フェリス女学院長 と理事をゲストとした第 4 週目の授業では、履修者以外(教職員)にも公開しました。

最終成果である「学生憲章」は、学院長をはじめとする学内関係者にプレゼンテーションが行われ、学修成果に客観的なフィードバックが加わる形となりました。

# 2011 年度第 1 回 FD 講演会

日 時： 2011 年 5 月 18 日(水)16:30～19:00

会 場： グリーンホール

テーマ： 3 教員による模擬授業

内 容：

## 第 1 部「フェリス白熱教室 vol.2」

### ・ 諸橋泰樹教授(コミュニケーション学科／社会学・マスコミ学)

テーマ「ワークショップ・スタイルの授業紹介」

編集者の擬似体験をしながら回答する小テストに始まり、データをグラフ化する作業、企画書づくりとその作品の紹介、雑誌の内容分析を Excel で行わせる課題の解説と続けました。個人作業、グループワーク、プレゼン、FerrisPassport の利用、板書など、メリハリがあって集中力の持続が期待できる展開でした。

### ・ 齊藤直准教授(国際交流学科／日本経済史・日本経営史)

テーマ「音楽学部 1 年生に企業経営を教えてみた」

ケース教材としてコンビニエンスストアの出店戦略が扱われ、板書、口頭説明を中心に進められました。板書は黒板を左右に分割し一面に納めて纏める、学部横断的な共通科目では多様な履修者に配慮し、難解な専門用語を使用しないなどの原則が示されました。身近な事例で関心を引き出し、社会的影響の理解に繋げ、学生に「わかる」面白さを伝える内容でした。

### ・ 土屋広次郎准教授(演奏学科／声楽)

テーマ「校歌を使ってエデュテイメント・スタイルの授業を体験する」

「表情」「発声」「語尾の発音」「体の使い方」などノンバーバルコミュニケーションは自発的に「知る」「知りたい」と興味を引き寄せるツールであるとして、対話と実践を通じた歌唱指導が行われました。曲や詞の背景を理解し、楽しみながら学ぶ形式で、受講者自身も変化を実感できました。

## 第 2 部「ディスカッション」

大野英二郎教授(副学長、企画・広報部長)の司会により、文学部、国際交流学部、音楽学部のディスカッサントを交えてディスカッションが行われました。

取り上げる素材の選択、課題設定の的確さ、入念な事前準備が必要であること、到達目標が明確であればテストや表計算などツールへの理解を得られやすい。リズムとテンポ、スピード感があり、学習意欲が喚起されるといった賛同意見が多くある一方、地道で単調な作業の反復、暗記が避けられない科目、日常的で身近な事例を扱うことが馴染まない科目で関心を持続させる難しさが語られるなど、率直な意見が出され、議論が掘り下げられました。



模擬授業 1(諸橋泰樹教授)



模擬授業 2(齊藤直准教授)



模擬授業 3(土屋広次郎准教授)



ディスカッションの様子